



安全衛生管理レベルアップ集中講座

第3回岡山あんぜん塾
パネルディスカッション
「今後の安全管理を展望する」

岡山労働局 岡山・倉敷労働基準監督署
【共催】岡山産業保健総合支援センター

岡山スイキュウ安全への取組み



平成30年11月

岡山スイキュウ株式会社
品質管理部長 福森琢磨



岡山スイキュウ(株)概要

本社 岡山市南区泉田

事業内容

- 一般貨物自動車運送事業
- 宅地建物取引業
- 一般労働者派遣業
- 貨物自動車運送取扱事業
- 不動産業
- 損害保険代理店業
- 倉庫業
- 産業廃棄物の収集、運搬及び処理業

創業 昭和30年6月

設立 昭和35年7月

資本金 4,840万円

グループ全体

従業員 550名

乗務員 330名

車両台数 305台

売り上げ

2017年度 66億円

取引先 120社



	冷凍冷蔵	ウイング	平ボディ	合計
大型	21	44	8	73
中型:普通	75	56	10	141
小型	49	32	10	91
合計	145	132	28	305



★交通安全:

安全性優良事業所(Gマーク) 全日本トラック協会認証

スローガン「安全は我社の使命」

「運輸安全マネジメント」を導入して、絶えず輸送の安全確保と向上に取り組んでいます。



★環境保全:

グリーン経営認証 エコモ財団認証

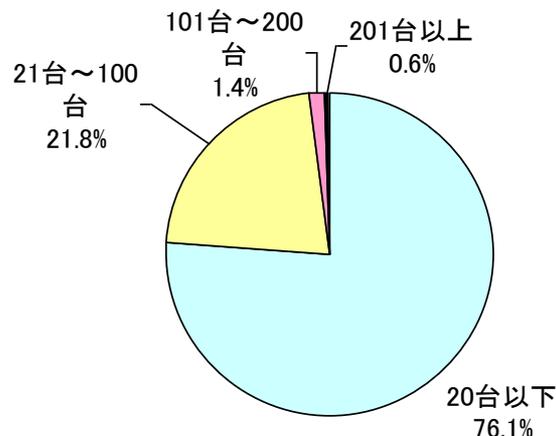


初度登録日から10年継続して更新取得した事業所に対し、永年登録事務所として表彰されました。

倉富物流センター
泉田営業所
瀬戸内物流センター

★品質方針

「優れた品質で、顧客満足経営を柱とし、社員を大切にし、社会に貢献します。」



貨物自動車運送事業者数

国土交通省自動車局貨物課発表 平成29年3月31日現在

全国62276社の中、
201台以上の車両保有の会社は365社で全体のわずか0.6%
20台以下は47,421社で全体の76.1%を占める



ISO9001:2015 認証取得

1) スイキュウグループ事業所紹介

岡山スイキュウ(株) 2事業所
中区 倉富物流センター ⇒
南区 泉田営業所(本社営業所)
岡山水急大阪(株) 2事業所
冷蔵・冷凍食品
スーパー・小売店配送



岡山スイキュウ(株) 2事業所
瀬戸内物流センター
早島物流センター⇒
常温配送・住宅設備配送



岡山市場運輸(株) 鮮魚配送



不動産事業部 北区大元 1店舗

(株)岡山輸送サービス 車両販売・整備工場 2工場



1) 社外コンテスト成果

乗務員のスキル・モチベーションUP目的の各種コンテスト参加

全日本トラック協会ドライバーズコンテスト全国大会

平成30年 4トン部門 全国30位 女性部門 全国5位入賞

平成29年 11トン部門 全国4位入賞 女性部門 全国6位

国土交通大臣賞受賞

平成28年 4トン部門 全国30位 女性部門 全国5位入賞

平成27年 女性部門 全国8位



平成28年表彰式



平成30年5月石井国土交通大臣表敬訪問

陸上貨物運送事業労働災害防止協会(陸災防)フォークリフトコンテスト
平成29年 岡山県大会2位入賞

2) 当社の安全への取り組み(法令以外)



①入社時新人教育

本社主導の教育(所属ではばらつきがある)

テキスト化(ベテランのknowhow⇒knowWhyを記録に残すため)

②従業員教育 年間計画の立案及び実施

社外講師による講習会 社外施設での研修会(マンネリ化防止)

ドラレコKYT

標準化 指導官による添乗指導・現場パトロール項目を詳細に表記

視覚化(映像化) 視覚に訴える

③事故惹起者教育

適性診断 なぜなぜ分析 KYT 添乗指導

④高齢者教育

適性診断 KYT 添乗指導

⑤各種認証取得及び維持

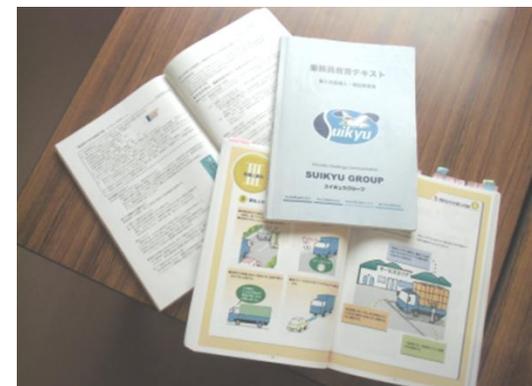
マネジメントシステムの継続的運用(仕組み作りに効果的なため活用)

⑥健康経営へ

- ・睡眠時無呼吸症候群(SAS) スマホを活用した予兆検査
- ・定期健康診断時にインフルエンザ集団接種の実施(会社負担)
- ・ESアンケート(毎年実施)

①乗務員テキストの作成

ベテランのKnowHowは過去の事故事例からの社内ルールのKnowWhyを基に作成。約230ページ **ワンマン運転開始試験にて安全意識のヒアリングを実施**



◆ワンマン運転開始試験の標準化

1)安全意識ヒアリング 13項目(3時間)

安全運転のための知識の確認、ルールのknowWhyを質問して、ルールの目的や実施しなければどの様な事になるのかをヒアリングする。

2)日常点検(トラップ多数有り)

トラップを仕掛けないと形だけの日常点検になってしまい、故障や不具合の前兆を見落としてしまう。

3)運転実技 2時間

安全知識が運転に活用されているかの確認



安全意識ヒアリング(一例)

質問:乗車前の一周確認はどのような状況の時実施しますか？

模範回答:出発時を含めて、車両より離れて戻った時に一周確認をして、異常がないかを確認します。

より掘り下げて

質問:どこを見て、どの様な異常を確認しますか？

回答:①車体下に人(子供)が潜り込んでいないか、障害物が入り込んでいないか確認します。

なぜ:子供が転がったボールを取り車両に下に入っていないか確認するためです。

②車体に損傷がないか確認します。

なぜ:納品の駐車時に被害事故に遭っていないか確認するため

③扉やアオリ、道具箱などのロックを確認します。

なぜ:閉め忘れ等で扉開閉や商品落下による事故を防止するため

④車両周囲の状況を確認します。

なぜ:車両を停めたときに無かった物・人など、状況の変化を確認して、そのものとの事故を防止するため



2) ②定期教育

①シート式のKYTから効果向上のため

- ⇒ ・自社のドライブレコーダーの映像を用いたKYTを行う
- ・普段走行している道なのでより実践的な内容になる



②指導項目 各項目を3段階で表現して、自分の現況と求められる姿を理解させ、実行させることが目的

10. 進路変更 法令を遵守した進路変更(周囲の交通に自車の意思を示し、正しい確認とタイミングで進路を変更する能力)		周囲の交通に対して自車の意思を示すための合図をしている。
	A	○進路変更3秒前に合図をしていた ○進路変更を完了するまで合図をしていた
	B	○合図を出してから3秒以内に進路変更を開始した ○進路変更を完了する前に合図を切った
	C	○合図を出さなかった
		進路変更時の安全確認をしている。
	A	○ミラー及び目視にて安全確認していた
	B	○ミラーでの確認が多く、目視確認することが少なかった
	C	○確認と同時にハンドル操作していた



①新入社員の入社頻度が多い 毎年50名入社(15%入れ替え)

⇒ 新入社員教育の時間が多い

②最近は無経験者の割合が増加している 異業種が半数を占める

⇒ 教育に必要な時間が多い 結果(影響度)の重大性の認識が無い

③関係法令の厳格化

⇒ 乗務員の運行・労務管理が厳しい(運輸局⇒事業所停止30日)

④求人難による人手不足

⇒ 人手不足のため定期教育の時間確保が困難

⑤乗務員は一人での運転・作業が多い

⇒ 出発点呼後は、電話連絡のみで無事帰ってくるまで判らない

⑥車両設備やマテハンの多様化

⇒ 最近の車両装備やマテハンの正しい知識 文書化しにくい

⑦経営者と現場の意識格差 ⇒ 現場の意識改革が遅れている



①計画の立案及び確実な実施、必要に応じた見直し PDCA

②ルールが多いので、現場や必要な時に思いだす仕組み

⇒ルールを「見える化」する →カゴ台車の短辺○

③求める姿を詳細に示す

⇒各項目ごとに3段階で表現して、自分の現況と
求められる姿を理解してもらう 2)②を参照下さい



④繰り返し、繰り返し教育を行う

⇒習慣化するまで言い続ける。点呼やミーティングを活用

⑤最近の若者に対して活字だけの理解は酷

⇒映像を見て理解する「可視化」

⑥相手の心理適性を理解して教える(入社時と65歳以上は義務化)

⇒運転適性(協調性 危険感受性 注意の配分 動作の正確さ 判断・動作のタイミング)

作業手順書を映像化する

- ⇒1)音声とテロップも入れて視覚と聴覚に訴え理解を深める
- 2)管理者の育成及び管理者の指導教育の軽減化
- 3)管理者(指導者)の力量に影響されないための標準化
- 4)一人でも繰り返し何度でも見ることが出来る



2017.7.22にNHKニュース「おはよう日本」で「大型台車による労災事故増加・人手不足の運送業界」が放送されました。その特集の中で、ロールボックスパレットの事故防止に取り組む運送業者として紹介されました。また、6輪台車の作業手順の映像もご覧下さい



ご清聴ありがとうございました



ご安全に！

荒木組安全取組状況(作業所-1)

●リスクアセスメントの取組

1) 工事現場リスクアセスメント実施一覧表

(過去の災害、周辺環境、工程、主要機械・材料などから抽出)

2) 作業所全工期安全衛生管理計画表→月間計画表作成

3) 着工前会議で安全衛生計画の立案

リスクアセスメント実施一覧表

工事名	岡山県南大分庁舎高層等修繕自動車等整備修繕工事
施工	修繕工事、自動車整備業務、塗装、取付
工事場所	岡山県北地区庁舎1号ビル1-4号
工期	平成30年9月18日～平成31年1月20日
工事種別	修繕(修繕種別)・塗装(塗装種別)

工種名	作業名	危険性又は有害性 (災害発生要因)	リスク評価			リスク削減対策 (問題点に対する対策)
			発生可能性	被害程度	発生頻度	
ボイラースタッフ	ボイラースタッフ車の搬入搬出の調整		6	4	10	4. 搬入の点検を厳密に行い、10分程度を先行し
仮設工事	足場組立	高圧電線接触や、足場より墜落	10	4	14	5. 先行手配の法、厳密な設置と点検をしようす
木工職	高作業	高みからの転落	6	4	10	4. 落下防止安全装置し、乗車位置等の確認と乗車での作業の禁止
木工職	高作業	器具に挟まれ傷を被る	6	8	14	5. 適切な訓練と入作業とし、声を掛け合い確認

調査年度	調査項目	危険性又は有害性 (災害発生要因)	リスク評価			リスク削減対策 (問題点に対する対策)
			発生可能性	被害程度	発生頻度	
過去年度	進入路	乗車進入時に急いで車の移動	6	4	10	4. 危険区域の確保と乗車進入の厳格な実施
今回調査内	進入路	乗車進入時に急いで車移動し接触する	6	4	10	4. 危険区域の確保と乗車進入の厳格な実施
今回調査内	緊急避難	急ぎで逃げたい、手配・道路からの陥入で死んでしまう	6	4	10	4. 緊急避難の経路を確保し、15分以内の退避が可能となるよう確保

Risk Assessment Table

作業内容	危険性	発生可能性	被害程度	発生頻度	リスク評価	削減対策
...
...
...

10. 安全衛生管理計画 (作業所では、監理・対策を実施する上、作業所も含め、厳守すること)

安全衛生方針	リスクアセスメント手配を厳格にし、自主的安全衛生管理体制を確立し、安全で健康な荒木組文化を創る
30期安全衛生目標	1-4以上の死者発生率を0に達成(発生率0%の達成)
30期工事目標(2019)	1. 会社・作業所・協力会社のチームで活動し、「見える化」を実施 2. 自主的安全衛生管理体制を確立

上記、安全衛生方針に基づき、当作業所の安全衛生管理体制を、次のとおりとする。

(1) 作業所安全衛生重点対策

● 作業所安全衛生目標 (作業所独自の具体的な方針)

作業所全工期の活動(工事)に当たって、自主的安全衛生の確保を目的として、以下の項目を重点的に実施する。

● 作業所全工期の活動(工事)に当たって、自主的安全衛生の確保を目的として、以下の項目を重点的に実施する。

項目	発生可能性	被害程度	発生頻度
1. 高足場(組立施工)に降下時、急いで降下し、踏切りや落下による怪我等	6	2	2
2. 高足場での作業時、急いで降下し、踏切りや落下による怪我等	6	2	2
3. 高足場の組み立て時、急いで降下し、踏切りや落下による怪我等	6	2	2
4. 高足場の解体時、急いで降下し、踏切りや落下による怪我等	6	2	2
5. 高足場の解体時、急いで降下し、踏切りや落下による怪我等	6	2	2
6. 高足場の解体時、急いで降下し、踏切りや落下による怪我等	6	2	2

● 作業所全工期目標と重点対策(リスク削減)に対する取組

項目	発生可能性	被害程度	発生頻度
1. 高足場(組立施工)に降下時、急いで降下し、踏切りや落下による怪我等	6	1	2
2. 高足場での作業時、急いで降下し、踏切りや落下による怪我等	6	1	2
3. 高足場の組み立て時、急いで降下し、踏切りや落下による怪我等	6	1	2
4. 高足場の解体時、急いで降下し、踏切りや落下による怪我等	6	1	2
5. 高足場の解体時、急いで降下し、踏切りや落下による怪我等	6	1	2
6. 高足場の解体時、急いで降下し、踏切りや落下による怪我等	6	1	2

● 安全衛生の留意事項

● 安全衛生の留意事項

● 安全衛生の留意事項

荒木組安全取組状況(作業所-2)

●化学物質への対応

(リスクアセスメントの実施)

●作業環境・水洗トイレの設置



●熱中症対策(毎日の情報配信)

空調服支給、WBGT測定器設置

●見える化の推進

不安全行動、事故事例



災害事例シート (Disaster Case Sheet)

発生場所	発生日時	発生種別	発生原因	被害状況	再発防止策
現場	2023年11月15日 14時15分	足踏	作業中に足踏による怪我	軽傷	作業時の注意喚起
現場	2023年11月15日 14時20分	転倒	作業中に転倒による怪我	軽傷	作業時の注意喚起
現場	2023年11月15日 14時25分	転倒	作業中に転倒による怪我	軽傷	作業時の注意喚起
現場	2023年11月15日 14時30分	転倒	作業中に転倒による怪我	軽傷	作業時の注意喚起
現場	2023年11月15日 14時35分	転倒	作業中に転倒による怪我	軽傷	作業時の注意喚起
現場	2023年11月15日 14時40分	転倒	作業中に転倒による怪我	軽傷	作業時の注意喚起
現場	2023年11月15日 14時45分	転倒	作業中に転倒による怪我	軽傷	作業時の注意喚起
現場	2023年11月15日 14時50分	転倒	作業中に転倒による怪我	軽傷	作業時の注意喚起
現場	2023年11月15日 14時55分	転倒	作業中に転倒による怪我	軽傷	作業時の注意喚起
現場	2023年11月15日 15時00分	転倒	作業中に転倒による怪我	軽傷	作業時の注意喚起



※ いろいろな取組の中、
災害の多発傾向と問題点を考察

①危険予知活動・作業手順が、 「作業員が怪我をしないための対策」 にならない

- * 足場から墜落する → 対策:安全帯を使用する
- * 脚立から転落する → 対策:足元を注意し、設置する など

【背景】

- 何故、墜落するかを考えることができない。考えた経験と訓練をしていない。
訓練をアラキ・アカデミーで実施しているが、なかなか、取組が積極的にならない。
- 考えなくてもペナルティがない。多くの作業所で朝一番書けば良くて、評価されない。
- みんなの前で、評価されたり、褒められることが少ない。
- 現場の作業員自体の危険感受性が不足？いろいろな状態に合わせて
危険な作業・不安全行為を捉えられない。
- 朝一番忙しいので、書き方の見本を欲しがり、やっつけ仕事としか考えていない。
- 一人親方化が浸透し、チーム・会社で考えることが少なく、職長は、指導しても
どうにもならないと考えている。

②事故が発生した場合でも、 元請に相談し、頼り、事業主として 原因・解決策を考えない。

* 事故原因の調査とか対策の立案を本気でやったことがない。

【背景】

●事故防止の原因究明が役に立つと感じていない。

ヒヤリハット・物損事故など軽微なことを対象としてでも、解決策などを考える時間と仕組がなく、コストメリットを感じていない。

●働く人の特性・個性・コミュニケーションを理解しようとする環境がない。

●怪我は「自分の責任」と言いながら、労災保険が担保するので、自らのミスであっても、金銭的な痛みがなく、再発防止が重要だと知らない。

③若い人が就労継続しにくい。 →働きやすい環境を整備する。

* モノづくりとしての建築・土木が魅力的でない。

【背景】

●高度成長期とかバブル期のような良き時代を知らない。

大いなる夢をもって働く事に興味がない。

●安定と自分の時間確保が第一。

●背中を見て育つ年代でなく、教育・習得・休日の確保がないと働き手が継続しない。

●わかりやすいイラストや動画で丁寧に説明し、取組やすい環境を整備する必要あり。

●とにかく、なんでも疑問があれば、解決するコミュニケーションを確保できる環境でない。

●達成感をみんなで共有する面白さとか、楽しくすることで興味を沸かすことが少ない。

●現場トイレも和便器を使ったことがなく、洋式便器を好み、コンビニのトイレを借用。

●汗をかいてもシャワーなどが整備できていない現場が多いなど衛生面での整備が低い。

④匠の技が受け継がれない。

- * 人手不足により、技能労働者が、60歳を超えても活躍しないといけない。

【背景】

- 匠の技をデジタル的に記録する意識と知識が高齢者に薄い。
教える時間と知識が不足。
- 昔は体で覚えていた。説明しなくてもよかったが……
- 職人は、マニュアル化に理解がない。
若手は、マニュアル化しないと理解しにくい。
- 上司から指導されても、言われたことしか取り組まない世代に、
どのように魅力を広げてゆくのか？
- 若手は、労働内容と屋外での炎天下環境の厳しい建設現場での労働は、
多業種と比べ、賃金ベースを低いと感じている。10年ほど横ばい。
(炎天下の作業が主で、熱中症のリスクが高い)

解決の方向性は？

- アラキ・アカデミーのカリキュラムの中で、「作業員が怪我をしないための対策と行動」を基本に訓練する。
- 協力業者の「安全衛生管理状況」を評価し、指導し、自主的安全衛生管理体制を確保する。
- 職長・協力業者の能力を評価し、やる気を育成するための報奨金・助成金などインセンティブを実施する。
- スマホ・WEB環境・イラスト化・ビデオ化などビジュアルに、わかりやすさを活用する。

*ご清聴ありがとうございます

*ございました。

*ご安全に！

岡山あんぜん塾パネルディスカッション 「今後の安全管理を展望する」

日本ゼオン株式会社 水島工場
環境安全課 佐藤基裕

1.水島工場の紹介

2.日本ゼオン水島工場安全活動一部紹介

3.現在抱えている共通、独自の課題

A large, modern industrial building with a white facade and blue accents. The word "ZEON" is written in large blue letters on the upper part of the building. In the foreground, there are several young green trees and a paved area with yellow safety barriers. In the background, there are industrial structures, including a tall red and white tower. The sky is clear and blue.

日本ゼオン(株)水島工場

国内の主な事業所

高岡工場



本社



水島工場



徳山工場



川崎工場/
総合開発センター



名古屋事業所

大阪事業所

水島工場概要

所在地:岡山県倉敷市児島塩生字新浜2767-1

工場長: 小瀬 智之

敷地面積 269,095㎡

従業員数 328名(2018年4月1日現在)

操業開始年月 1969年7月



水島工場での製品群



グリーンの香り原料



接着剤の原料



タイヤの原料

光学用途

医療用途

合成香料が使われる 最終製品例



プリンター用レンズ

携帯電話用レンズ



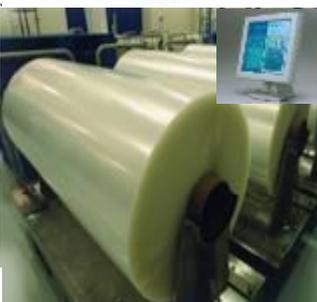
医療用シリンジ・バイアル



血液検査用セル



カメラ用レンズ



医療用PTP

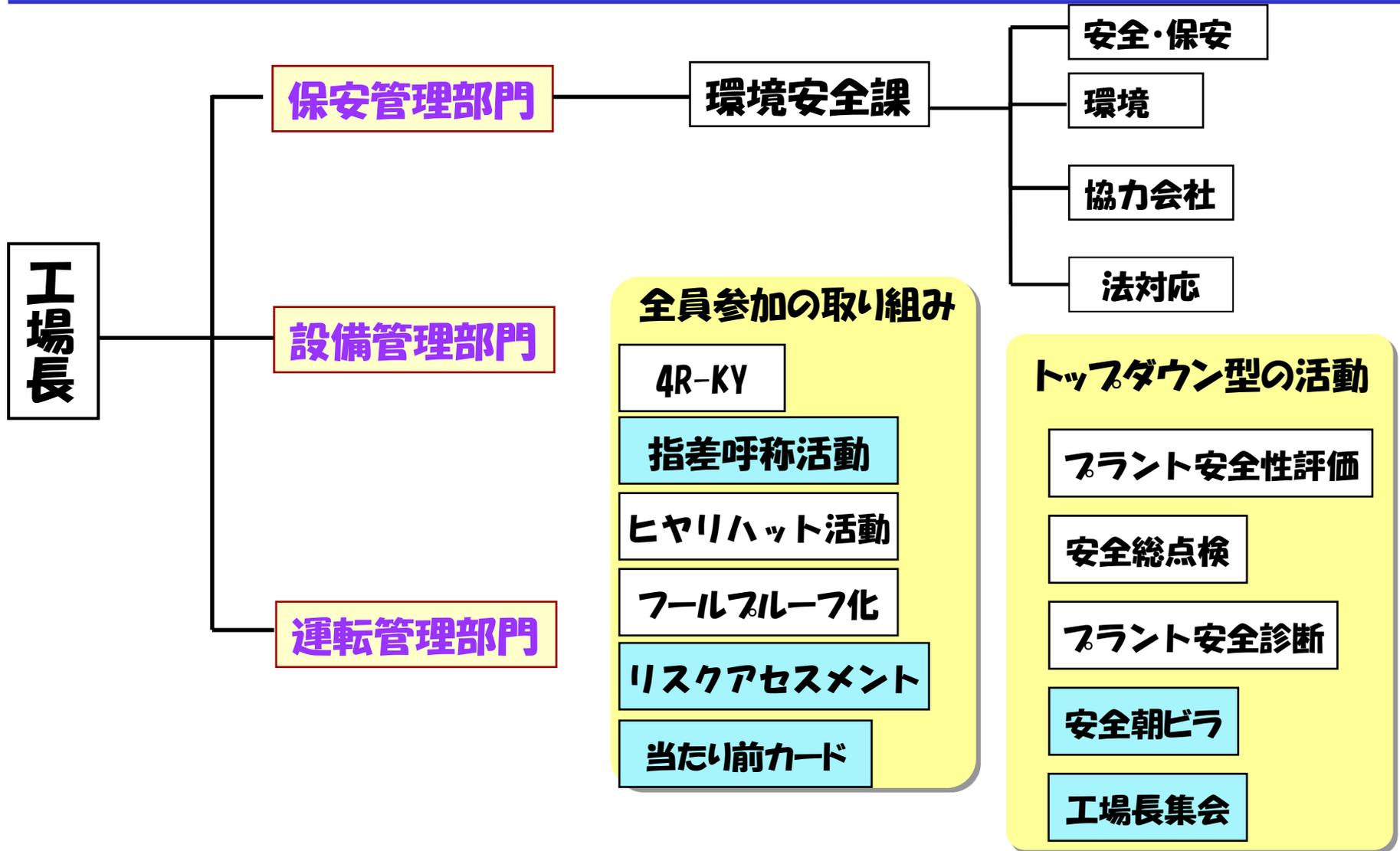


輸液バッグ



世界的に有名な香水の原料

1.安全管理組織体制と全員参加安全活動



2.日本ゼオン水島工場安全活動一部紹介

2-1.水島工場 教育訓練の実施(全社初級教育)

1.ものづくり研修所での初級教育

【運営理念】

・ルールを守り、ルールを改善できるオペレーターの育成

【基本的考え】

・オペレーターの基礎となる「工場ルール」と「フロント運転基礎知識」の製造課共通教育を実施し、生産革新を支えるオペレーターを育成する。

【目標】

- ①ルールを重要視するオペレーターを育成
- ②「知識」「行動」「経験」を一定のレベルに育成



水島工場内に「ものづくり研修所」開設
2009年7月より入社3年生ままでを対象に
した初級教育を開始

2-2 水島工場 教育訓練の実施内容

2.ものづくり研修所での初級教育

<必要要件>

知識

- ・工場ルール ・保安4法
- ・P&ID ・取扱物質の特性
- ・化学工学 ・設備
- ・安全 ・品質 ・コスト



行動

- ・安全 ・品質 ・コスト ・納期
- ・改善、改良(ZΣ活動、他)
- ・コミュニケーション



経験

- ・オペレーション経験
- ・非定常作業体験
- ・トラブル体験
- ・プロセス改善



<教育内容>

- 1.各細則(安全・品質・設備・他)
- 2.安全手法(リスクアセスメント、300運動、KY、他)
- 3.QC手法(Q7、新QC7、QCストーリー)
- 4.SDS、イエローカード
- 5.化学工学(流動、伝熱)
- 6.設備(動機器、静機器、計装)
- 7.目で見える管理、流体表示

- 1.安全理念(自主保安、他)
- 2.品質理念(ISO9001、他)
- 3.製造原価の構成
- 4.報・連・相
- 5.指差呼称
- 6.引継ぎ

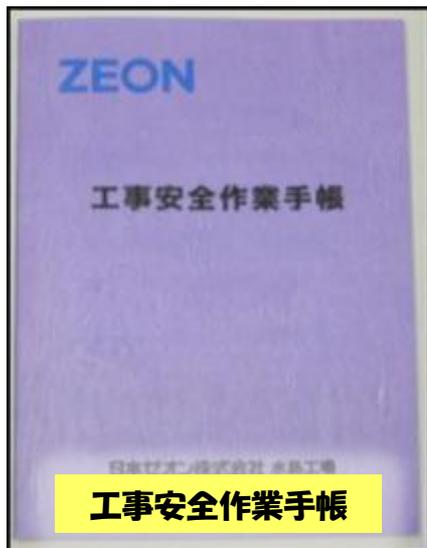
- 1.基本動作・操作
- 2.訓練フラント運転(スタート、監視、ストップ)
- 3.トラブル体験(小修理、修理準備、緊急停止)
- 4.フラント改善(アイソメ図作成、見積み、変更管理)
- 5.安全3原則(3S、自主保全、標準作業)
- 6.消防操法

2-3. 安全塾(従業員、協力会社全て体感教育)

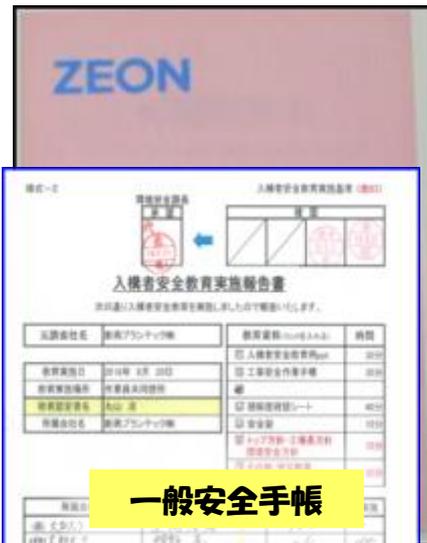


2-4 協力会社への入構者教育

配付



工事安全作業手帳



一般安全手帳

配布物受領記録表

配布物名称 工事安全作業手帳

氏名	氏名
山崎 隆之	87
高橋 浩二	88
大中西 康	89
石川 利之	90
鈴木 昌樹	91
吉岡 正樹	92
中村 正樹	93
森田 大輔	94
浅川 浩樹	95
大塚 健一	96
小宮 新一	97
佐藤 浩二	98
山崎 隆之	99
高橋 浩二	100
大中西 康	101
石川 利之	102
鈴木 昌樹	103
吉岡 正樹	104
中村 正樹	105
森田 大輔	106
浅川 浩樹	107
大塚 健一	108
小宮 新一	109
佐藤 浩二	110

手帳受け取り記録

教育基準

表員-1 入構者安全教育実施一覧表

教育区分	対象者 ※3名(1組の労働)による。	教育実施部署	有効期間 配付交付	教育内容、資料					備考	安全点検
				OS標準方針 安全理念 環境安全 健康文化 経営方針	入構者教育 教育手帳 教育一冊	運用について 一般安全事項 機内運行 機外・機内	業務上のルール	急の ルール		
教育認定者教育	※社協力会社(工事現場) 作業員、監督者	設備管理課	3年 ワッペン交付	入構者安全教育用set	入構者安全教育用set	入構者安全教育用set	入構者安全教育用set	-	入構者安全教育用set	安全点検
工事入構者教育1	①-1監理、建設工事 監督者	設備管理課	1年 既交付	設備管理課「工事監督者選任基準」の規定による。(前掲条件・理解度確認シート)全項目(および安全理念受講済み)						
	①-2監理、建設工事 作業員	設備管理課	1年 ワッペン交付	入構者安全教育用set	-	入構者安全教育用set	入構者安全教育用set	-	入構者安全教育用set	安全点検
工事入構者教育2	②現場実習 (火災発生時対応教育は、「火災撲滅安全確認」の規程による。)	環境安全課	1年 ワッペン交付	工事安全作業手帳	-	工事安全作業手帳	-	契約時の作業票 安全衛生教育実施後 フォローアップ	入構者安全教育用set	安全点検
	③施設(原料・副原料・人、製品出荷)	環境安全課	1年 ワッペン交付	工事安全作業手帳	-	工事安全作業手帳	-	火災専用 機内交通安全	-	安全点検
④荷役、緑化	環境安全課	1年 ワッペン交付	工事安全作業手帳	-	工事安全作業手帳	-	火災専用 機内交通安全	【機内運行で機外へ出る時は、その中心火災原因は機内での火災発生に由来する。必ず機内での火災発生原因を把握し、安全確認を徹底する。】	-	安全点検
⑤引化機整備	環境安全課	1年 ワッペン交付	工事安全作業手帳	-	工事安全作業手帳	-	機内交通安全	-	安全点検	
⑥衛生保守管理	環境安全課	1年 ワッペン交付	工事安全作業手帳	-	工事安全作業手帳	-	火災専用 機内交通安全	-	安全点検	
⑦ワッペン交換(ガス欠、発生用)	業務管理課兼G	1年 ワッペン交付	既交付	一般安全手帳	-	一般安全手帳	-	※高品質 機内交通安全	-	-
⑧産業物販用(機内取組訓練)	環境安全課	既交付済	1年 ワッペン交付	一般安全手帳	-	一般安全手帳	-	火災専用 機内交通安全	-	安全点検
⑨産業物販用(外部取組訓練)	業務管理課	既交付済	-	-	-	-	-	-	-	-

入構者教育区分表

表員-3 入構者安全教育実施基準 (表01)

【教育認定者】交付ワッペン

【教育終了者】交付ワッペン

①サイズは「教育認定者」に同じ。交換の際は、1年ごとの交換を、以降は3年サイクルで回す。

2013年	2016年
2014年	2017年
2015年	2018年

【教育終了者】交付ワッペン

●●●年 12月 水島工場 安全課

●●●年 12月 水島工場 安全課

●●●年 12月 水島工場 安全課

教育終了ワッペン

入講安全教育実施報告書

3.現在抱えている共通、独自の課題

1.技術伝承の問題

◆昭和50年以降、昭和58年まで新人採用がなく、ここに来て技術伝承をどう考えるか。

2.現場、設備異常に弱いオペレーターが増加していないか。

◆教えられたことはキチンとやる。(応用力、気づきが薄れていないか)

◆手順書がないと作業できない。(手順書通りでない教育できない)

◆新人は、教育指導員制度に従って教育を受けるが、指導員がトラブル経験がなく、後輩に手順書通りにしか教えられなくなっている。

3.スポット業者の労災が増えている傾向にある。

◆定修がコンビナート一斉定修にない作業員が不足してきている。

ご健康に!!

ご安全に!!